

なぜ東大山笠が子ども食堂を始めるの？

きっかけは、区役所での雑談からでした。

戸畑祇園大山笠振興会の会議の後で、4月から振興会の事務局を担当する事になった職員Nさんとの何気ない雑談でした。

Nさん：以前は子ども食堂の担当をしていたんですよ。

私：そうなんですか！戸畑では子ども食堂どこでやってるんですか？

Nさん：実は、北九州市で戸畑区だけ子ども食堂が無いんですよ。どこか子ども食堂をやって頂けるところがあれば、ご紹介をお願いします。

Nさんに子ども食堂の事を詳しく聞いていくうちに、「子ども食堂は東大山笠でも出来るんじゃないか」と考えるようになりました。

東大山笠では、祭典前の準備活動などで大量の食事の調理経験もあるし、一流ホテルのシェフも在籍しています。

そして何より東大山笠が2019年4月に法人化してから、地域との共生を目標に取り組んでいたのも、子ども食堂での「食事の提供」を通じて地域の大人と子ども達との交流や活動で、子ども達が色々なことを経験し学ぶ場として貢献出来ると確信しました。

また、東大山笠には様々な年代や様々な職業の方がおりますので、多世代多業種の多様な学びと交流が、子ども達の育成にきっと役に立つと考えています。

それから東大山笠の執行部の会議にて子ども食堂の開設を提案した後は、とんとん拍子に話しが進み、第1回目の5月30日の開設に向けて準備に邁進しております。

最初は無理なく活動を続けるために、小学生の食事30名分でスタートします。

子ども食堂の活動が順調に進めば、逐次見直し、徐々に広げて行きたいと考えています